

甲佐町議会だより

第133号



清流

平成22年6月1日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 中村幸男

3月定例会



消防点検（3月28日）

（若草保育園 幼年消防クラブ）

人事案件・条例案件・

- 平成22年度各会計予算・・・②～③
- 論点 Q&A そこが知りたい・・・④～⑤
- 一般質問8人 ここが聞きたい・・・⑥～⑬
- 傍聴席から一言(子ども議会の感想)、
- 議会運営委員会視察研修報告・・・⑭～⑮
- 臨時議会・・・⑯

3月定例会

3月定例会は、12日開会、18日までの実質5日間の審議が行われた。

案件は、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意案件1件、条例案件4件、平成21年度一般会計ほか各特別会計補正予算案件6件、平成22年度一般会計ほか各特別会計予算案件7件、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。

また、一般質問には8人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

光ブロードバンドの整備について

予算においては、12月

総事業費は、6億13
900万円。
町から事業者に、2億
6900万円の補助を行

うが、そのうち、国から
1億2105万円の地域
負担は、1億4795万
円となる。

また、その町の負担も
過疎債の活用により、地
方交付税において70%の
見返りがあるので、実質
の町負担額は、過疎債の
30%分で、4438万5
000円の負担となる。

ため、本条例の一部を改
正するもので、全会一致
で可決した。

④長期債利子償還金
△2850万円

甲佐町簡易水道設置条例を廃止する条例について

宮内の上揚簡易水道及び安平簡易水道が町の上水道と統合したため、本条例を廃止するもので、
全会一致で可決した。

増額し、予算の総額を16
億5624万2000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

③道路維持工事
1111万5000円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

一般会計補正予算

2億4460万1000
円を減額し、歳入歳出
予算の総額を54億649
3万6000円とする補
正予算を可決した。

増額し、予算の総額を16
億5624万2000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

②雇用促進住宅取得費
1111万5000円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

老人保健特別会計補正予算

53万4000円を増額し、
予算の総額を139
0万8000円とする補
正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

①光ブロードバンド整備
事業補助金
△8100万円

を減額し、予算の総額を
12億301万3000円

条例案件

株式会社と西日本電信電話株式会社熊本支店の2
社を指名し、光ブロード
バンドサービス提供事業
者評議委員会（委員長
副町長）による評議を行
い、その結果を町長に報
告。

町長は、その報告を受
け、事業者を、西日本電
信電話株式会社（NTT
西日本）熊本支店に決定定
された。

甲佐町水道給水施設等設
置及び管理に関する条例の
一部を改正する条例につ
いて

宮内の入江地区水道給
水施設を新たに追加する

水道事業会計補正予算
△1300万円

介護保険特別会計補正予算

主な内容として、
①光ブロードバンド整備
事業補助金
△8100万円

を減額し、予算の総額を
12億301万3000円

を減額し、予算の総額を
12億301万3000円



奥名 政成氏

とする補正予算を可決した。

後期高齢者医療特別会計補正予算

1111万5000円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

③道路維持工事
△2850万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

④長期債利子償還金
△2850万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑤固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑥固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑦固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑧固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑨固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑩固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑪固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑫固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑬固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑭固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑮固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑯固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑰固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑱固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑲固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

⑳固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉑固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉒固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉓固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉔固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉕固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉖固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉗固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉘固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉙固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉚固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉛固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉜固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉝固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉞固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

水道事業会計補正予算
△900万円

㉟固定資産評価審査委員会委員の選任同意
△900万円

を減額し、予算の総額を
1億2159万1000円とする
補正予算を可決した。

平成22年度 一般会計当初予算 47億6770万5千円

一般会計予算

(単位:万円)

歳入	22年度	21年度	前年度からの伸び率
町税	85,343	85,657	△0.4%
地方譲与税	6,200	7,100	△12.7%
利子割交付金など	13,760	14,570	△5.6%
地方交付税	185,000	195,000	△5.1%
分担金及び負担金	6,598	8,201	△19.6%
使用料及び手数料	5,043	3,555	41.9%
国庫支出金	60,881	40,518	50.3%
県支出金	35,030	32,117	9.1%
財産収入など	1,092	12,005	△90.9%
繰入金	13,080	18,962	△31.0%
繰越金	5,000	5,000	0.0%
諸収入	3,474	4,015	△13.5%
町債	56,270	33,450	68.2%
計	476,771	460,150	3.6%

(単位:万円)

歳出	22年度	21年度	前年度からの伸び率
議会費	6,899	6,904	△0.1%
総務費	70,553	86,267	△18.2%
民生費	156,364	136,046	14.9%
衛生費	49,850	48,601	2.6%
農林水産業費	16,038	14,390	11.4%
商工費	4,103	3,369	21.8%
土木費	27,049	25,659	5.4%
消防費	20,985	21,517	△2.5%
教育費	39,970	35,274	13.3%
公債費	83,960	81,123	3.5%
予備費	1,000	1,000	0.0%
計	476,771	460,150	3.6%

一般会計当初予算

平成22年度一般会計予算

は、47億6770万5千円で、前年より、1億6620万1000円の増となった。

主な要因として、子ども手当での創設及び甲佐中学校の建築設計委託費の増などによるものである。

质疑、討論のあと採決を行い、賛成9反対1で可決した。

一般会計予算については、基幹産業である農業振興の予算及び中小企業や高齢者の暮らしを守るために予算が不十分である。

また、国の対策も終わった同和事業の予算が組まれているので、反対する。

反対討論

井芹しま子議員

一般会計予算については、基幹産業である農業振興の予算及び中小企業や高齢者の暮らしを守るために予算が不十分である。

また、国の対策も終わった同和事業の予算が組まれているので、反対する。

特別会計当初予算

○国民健康保険特別会計

前年より、2381万1000円増の総額16億1466万6000円とする予算を、賛成9反対1で可決した。

○老人保健特別会計

総額201万2000円とする予算を、全会一致で可決した。

○介護保険特別会計

前年より、2450万8000円増の総額12億1682万2000円とする予算を、全会一致で可決した。

○後期高齢者医療特別会計

前年より、1062万3000円増の総額1億4332万9000円とする予算を、賛成9反対1で可決した。

○住宅新築資金等貸付特別会計

総額9万8000円の予算を、賛成9反対1で可決した。

○水道事業会計

総額9万8000円の予算を、賛成9反対1で可決した。

この予算を通して、町民がこの一年、文化的、社会的な生活を有することができるものと期待しきれども賛成する。

本田 新議員

賛成討論

この予算を通して、町民がこの一年、文化的、社会的な生活を有するこ

とができるものと期待しきれども賛成する。

○水道事業会計

全会一致で可決した。

○住宅新築資金等貸付特別会計

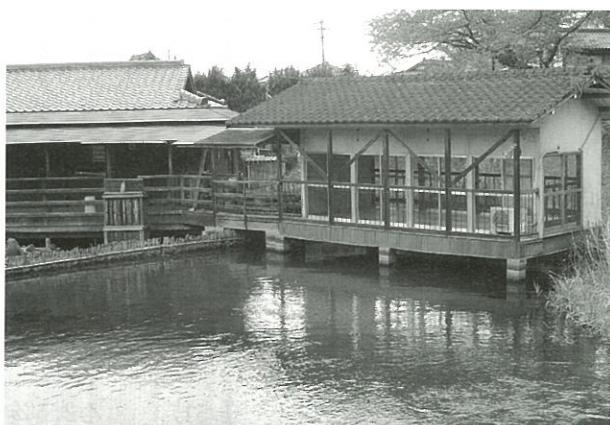
総額9万8000円の予算を、賛成9反対1で可決した。

○水道事業会計

全会一致で可決した。

そこが 知りたい

Q & A



改修予定のやな場

3月定例会 質疑より

Q やな場の改修工事が計画されているが説明を。

やな場改修工事について

そのための設計、監理及び改修工事費を計上している。

A 平成14年度に厨房および玄関、トイレの改修工事を行っているが、今回はそれを除く、やな場全体の工事を予定している。

主な内容は、県道側の客間が老朽化しているための建て替え工事、目隠しのための植樹、玄関から入って右側廊下の補修等を行いたい。

Q 徴収率向上特別対策事業費が計上されているがどういう事業か。

3681名中、認定者は648名。20年度は、3695名中640名。21年度は、3708名中640名で、あまり変動はない。

生ゴミ処理機補助について

の量の生ゴミが発生し、処理機によってどれ位の減量ができたかという資料を把握したい。

生ゴミは堆肥化されるので家庭菜園の堆肥として利用できる。

Q 介護保険の認定者の推移状況について

その結果、差押え品が出た場合の公売のための場所借上げ料、車借上げ料、徴収事務に要する時間外手当、需用費等を計上している。

Q 生ゴミ処理機補助について

※「参考」

○モデル事業分予定

9割補助 上限額 100基

○一般事業分予定

5割補助 上限額 5万4000円

10基

2万円

A 65歳以上の方の場合は、18年度対象者は、

Q 介護認定者の推移

生ゴミの減量化を図るため、現在未定であるが、ある集落をモデルとして資料収集を行いたい。

指定した集落でどれ位

モデル事業として平成20年度に甲佐町から処理場に持ち込まれた燃えるゴミの量は、2452トン、一人当たり213kgで一人一日当たり583g



生ゴミ処理機

かけ地近接等危険住宅移転事業について

Q かけ地近接等危険住宅移転事業の内容を。



かけ地近接等危険住宅移転事業の採択条件は?

A かけ地近接等危険住宅移転事業の採択要件は、かけ地に近接して、高さの一・五倍の範囲以内に建っている住宅が対象で、かけ上、かけ下どちらも対象になる。建築基準法の改正後に建築された住宅は対象外である。

補助の内容は、除却費

※ 詳細については、役場建設課までお尋ねください。

(解体、整地、動産の移転、仮住まい費など)として最高78万円を限度として助成される。

A 平成20年度から五か年間で調査することにしている。

これまでに、石列、空堀、土壠等について判明しており、今後の調査で

かけ地近接等危険住宅移転事業の採択条件は?

高額な調査費であるから、ぜひ甲佐町の名所に育てるもよろしい。

また、現在調査の中でどんなことが判明しているか。

Q 井戸江峡キャンプ場、川平キャンプ場について

平成21年度の井戸江峡キャンプ場、川平キャンプ場の利用状況、使用料について及び今後

Q 陣ノ内館跡の調査について

寄附金も含めた事業費が計上されていて、今後三か年で調査費1600万円が予定されている。

高額な調査費であるから、ぜひ甲佐町の名所に育てるもよろしい。

また、現在調査の中でどんなことが判明しているか。

Q 陣ノ内館跡の調査について

も空堀、石列が他の場所にもあることが予想されている。

中世の大変貴重な遺跡であると、文科省や県の文化課も非常に興味を持つておられる。

国の指定を受ければ調査に色々な恩典があるのを指定に努力したい。

五か年の調査により、甲佐町の名所につなげていきたい。

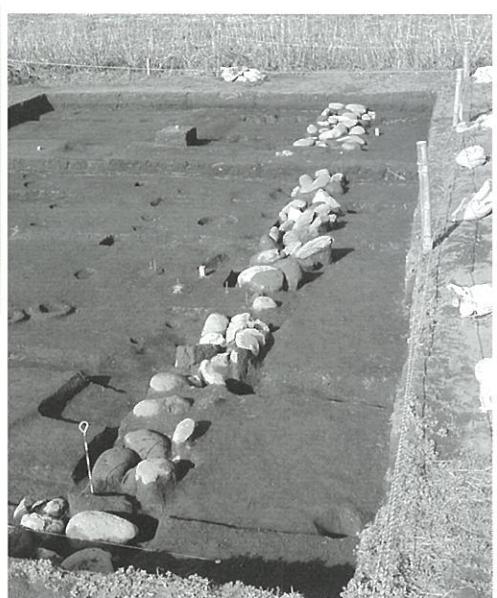
Q 陣ノ内館跡の調査について

も空堀、石列が他の場所にもあることが予想されている。

中世の大変貴重な遺跡であると、文科省や県の文化課も非常に興味を持つておられる。

国の指定を受ければ調査に色々な恩典があるのを指定に努力したい。

五か年の調査により、甲佐町の名所につなげていきたい。



調査が進む陣ノ内館跡

の管理办法については指定管理者制度が計画されていたが。

Q 新規事業で病児・病後児の負担金とは。



キャンプシーズンが近い井戸江峡キャンプ場

A 平成21年2月末日の状況であるが、井戸江峡キャンプ場については、利用件数140件、利用人数726名、使用料収入88万3600円である。

川平キャンプ場については、51件、利用人数387名、使用料収入27万9500円である。

管理方法については、平成22年度にグラウンドゴルフ場、井戸江峡キャンプ場、川平キャンプ場を含めて指定管理者制度の導入を考えている。

場所は御船町において、また、事業は、甲佐町、御船町、嘉島町が合同で行う。

A 平成21年2月末日の状況であるが、井戸江峡キャンプ場については、利用件数140件、利用人数726名、使用料収入88万3600円である。

川平キャンプ場については、51件、利用人数387名、使用料収入27万9500円である。

管理方法については、平成22年度にグラウンドゴルフ場、井戸江峡キャンプ場、川平キャンプ場を含めて指定管理者制度の導入を考えている。

場所は御船町において、また、事業は、甲佐町、御船町、嘉島町が合同で行う。

Q 病児・病後児負担金について

一般質問 と答弁



開きたい



北畠常博議員

鶲の被害対策について
は、県に問い合わせて、
今後の対応を検討したい。

鳥取区余二〇八

鳥獣駆除については、駆除隊18名により、春、秋の2回実施している。

3月になると、糸田堰の上流の甲佐大橋の所など、緑川のいたる所に鵜がたくさん来るが、その鵜が放流した稚あゆを食

鰯が放流した稚あゆを食べるので、どうにかできないか。

のし、カラスなどの駆除の方法は、今、どのようにしているか、お尋ねする。

A black and white photograph of a large, modern industrial building, likely a power plant or factory. The building is a multi-story structure with a light-colored, possibly concrete or metal, exterior. A prominent feature is a tall, cylindrical chimney located on top of the main building. The building has several small, rectangular windows. In the foreground, there is a chain-link fence. Some trees and bushes are visible behind the fence. The sky is overcast.

ゴミ処理場

道路網の整備計画 について

北畠議員 道路の整備計画で、今

ころや、来年までの計画

奥名町長

ゴミ処理場及び火葬場

ゴミ処理場、火葬場の施設が老朽化しているが今後どのように考えていいのか。

い
る。

今後、両施設の在り方をどう考えていくかであるが、御船・甲佐両町に

卷之三

おいて、一昨年の8月にゴミ処理改革プロジェクトを立ち上げ、その中で引き続き継続して審議していくことにしてある。

道格闘の整備計画

近隣の藝術回
について

北畠議員

学校教育について

中学校建設についての

甲佐中学校

本年度に基本構想・基本計画を策定し、平成22年度に校舎の実施設計を行う予定である。

行う予定である。

宮本修治議員



新採職員の研修

サル会社の勤務のため、即戦力として対応可能であり、もう一人は、高卒

ということで、今後部署の中で育てていきたい。

宮本議員

試験に5名、土木も高卒程度の試験で2名、社会福祉は大卒程度の試験で1名となっている。

宮本議員

土木の採用は1名と聞いていたが、2名になつた理由をお伺いしたい。

甲斐総務課長

従来は2週間程度の研修期間で行つていたが、

奥名町長

当初は1名を考えていた。一次試験に5人が受

奥名町長

試験され、2人が2次試験に進まれたが、面接試験

は、4月5日から3週間

程度を考へていて

奥名町長

度は、町長、副町長、教

育長の講話、各課からの

業務内容の紹介及び熊本

県市町村職員研修協議会

による研修。それに、町

の各施設及び一部事務組

合の施設廻りということ

で、これまでには昨年と同

じであるが、新たに、福

祉施設及び衛生施設組合

での就業体験を計画して

いる。

また、最後の1週間に

ついては、宮崎県の建設

技術センター（産業開発

青年隊）への入隊を考えている。

また、人員削減について

職員の配置等について

宮本議員

町は、平成17年度から定員削減を行つてあるが、

それにより、体制に無理が出てきているのではないかと思われる。

8名の方が職員に採用されるが、新人研修はどのような計画をされるのか。

甲斐総務課長

そのことを踏まえ、町長は、職員の人事等に関してどのような考え方を持っておられるか。

奥名町長

職員の配置については、まずは適材適所が基本になると考へていて、資質の向上を考へた場合、若い人達にはいろんな課、あるいはいろんな事務を多く経験させたほうがいいと思うし、また一方では、長期間経験を積ませて、今日の権限委譲にも対処できるようなエキスパートを育てるという考え方もある。

奥名町長

では、一部前倒し的な新規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。

奥名町長

規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。

奥名町長

では、一部前倒し的な新規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。

奥名町長

規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。

奥名町長

規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。

奥名町長

規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。

奥名町長

規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。

奥名町長

規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。

奥名町長

規職員の採用や臨時職員でのカバー、他課との兼務辞令などにより対応させていただいている。



旧宮内小児童のバス利用

統合甲佐小学校について

宮本議員

統合前の協議及び統合後の対応策については、

地域の方々と昼夜を問わ

ず色々な協議を行い、統合されたと思っている。

特に、子どもの登下校

についての話し合いでは、

登下校の時間帯にそぐ

わないといった現状の問

題点があるとすれば、即

刻、問題の解決を図る必

要があると考えている。

また、人員削減について

個人の適材適所を見出し、町行政が停滞しないよう職員配置を心がけてい

る。

また、人員削減について

その時間帯においてのバスの時間は、それぞれの時間帯に合わせるとこのとであつたが、その対応はどうなつてゐるか。

また、人員削減について

7

宮川安明議員



宮川安明議員

国又は県の補助金額に町の上乗せができる制度の改正を行った。

本田産業振興課長

改正後の主な内容については、次のとおりである。

○交付額

・国、県の補助がある場合

事業費の1／10以内の額。ただし、150万円を上限とし、総事

業費の4／10以内の額。

・町単独の場合

事業費の3／10以内の額で、上限は150万円。

・更新の場合

事業費の1／5以内の額で、上限は100万円。

・奥名町長

農機具導入にあたり、町までの制度としては、

・生産者が非常に利活用された実績が上がらず、

検討すべきだ”といった指摘をいただいていたが、

農業を営む3戸以上の生産者集団（うち認定農業者1戸以上）、

農業生産組合、農業生産法人。

○補助対象者

農業を営む3戸以上の生産者集団（うち認定農業者1戸以上）、

津志田河川公園の管理について

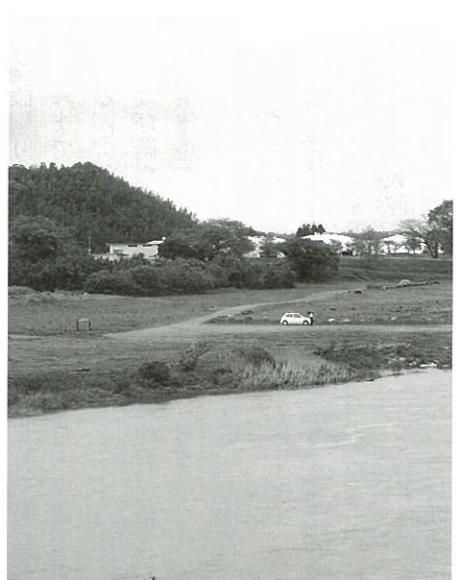
宮川議員

環境問題について

宮川議員

甲佐町では、新エネルギー

ギービジョンを平成18年



津志田河原

度に策定されているが、調査結果として、太陽光発電は十分期待できるか。

井上企画推進課長

甲佐町地域新エネルギーギービジョンにおいて調査した太陽光、風力、水力の新エネルギーの中

は、利用期待量、実現性において、最も高い評価となっている。

宮川議員

一般的な家庭で設置する場合の規模と価格はどう位か、また、国、県の補助はあるのか。

井上企画推進課長

一般家庭の場合は、3.5キロワット～4.0キロワット程度で、設置費は1キロワット当たり70万円程度だと思われ

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

太陽光発電

度に策定されているが、調査結果として、太陽光発電は十分期待できるか。

補助は、1キロワット当たり、国が7万円、県が3万5千円であった。

宮川議員

太陽光発電の家庭用に施設への率先導入を考えて、庁舎や町内の小学校などの公的機関に太陽光発電の導入を行っている。

宮川議員

町では、まずは、公共施設への率先導入を考えて、庁舎や町内の小学校などの公的機関に太陽光発電の導入を行っている。

宮川議員

町では、現在のところ、まだ取り組んでいないが、環境にやさしいエネルギーの提供といった点で

今後検討する必要があると考えている。

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

農業経営に必要な農業機械及びその周辺機器

・奥名町長

8

緒方哲哉議員



ボシドラの練習風景

宮内小学校の統合後について

緒方議員

旧宮内小学校は、統合されるまで、約130年余りの歴史がある。宮内地域の方々にとつてはか

また、わが町で最も高齢者の多い地域であり、地域の方々から、この施設ができて良かったといわれるような、宮内地域全体を見据えた施設をつくり上げていただきたい。

梅林公園の管理及び200年以上も続いているボシドラの継承について、この一年間どのようになっているか。

伊豆野学校教育課長

梅林公園の管理につい

ては、現在、宮内地区の活性委員のメンバーの方と宮内地区の子ども会の方で管理されている。梅

祭り時などは、甲佐小学校の保護者と大勢の児童も参加している。梅

ボシドラについては、

本年度において、地域小規模事業活性化推進事業を活用し、商工会が主体となり、国、県及び町の補助金330万円を受け、特産品の開発が行われている。

その特産品について、今までどのような取り組み状況になつてているか伺いたい。

本田産業振興課長

商工会が主体となり、開発された商品が5つある。

「ニラ玉麺、ニラこん

にやく、ニラ包子、いなかゆべし、鮎の一夜干」

が開発されたが、商品化

けがえのない大きな財産であり、地域の宝でもある。この財産を管理運営していくには、地域の人々の手によって、地域住民が潤う施設にしていただきたいが、それには行政の支援が不可欠であると考える。

また、わが町で最も高齢者の多い地域であり、地域の方々から、この施設ができて良かったといわれるような、宮内地域全体を見据えた施設をつくり上げていただきたい。

集約した長期的な将来展望となるので、町としては、その計画内容を尊重したいと考えているし、出来得る限り、意向に沿うような対応を行いたい。

緒方議員

平成9年度において、地域小規模事業活性化推進事業を活用し、商工会が主体となり、国、県及び町の補助金330万円を受け、特産品の開発が行われている。

その特産品について、今までどのような取り組み状況になつてているか伺いたい。

伊豆野学校教育課長

梅林公園の管理につい

ては、現在、宮内地区の活性委員のメンバーの方と宮内地区の子ども会の方で管理されている。梅

祭り時などは、甲佐小学校の保護者と大勢の児童も参加している。梅

ボシドラについては、

本年度において、地域小規模事業活性化推進事業を活用し、商工会が主体となり、開発された商品が5つある。

「ニラ玉麺、ニラこん

にやく、ニラ包子、いなかゆべし、鮎の一夜干」

が開発されたが、商品化

するうえでは、小学校跡地の利用というものは、大変大事なものであり、重要な拠点施設であると認識している。そのうえで、宮内小学校の跡地利活用計画の策定を行っている。

この計画については、地区住民の方々の意見を地区住民の方々の意見を集約した長期的な将来展望となるので、町としては、その計画内容を尊重したいと考えているし、出来得る限り、意向に沿うような対応を行いたい。

國民文化賞を受賞するなど、宮内地区だけでなく、甲佐町の重要な伝統文化であると認識しており、甲佐小学校においても、総合的な学習の時間に、地域学習や伝統文化と位置づけて、5年生全員がボシドラを練習している。

特產品開発について

緒方議員

平成9年度において、

地域小規模事業活性化推進事業を活用し、商工会が主体となり、国、県及び町の補助金330万円を受け、特産品の開発が行われている。

その特産品について、今までどのような取り組み状況になつてているか伺いたい。

本田産業振興課長

商工会が主体となり、開発された商品が5つある。

「ニラ玉麺、ニラこん

にやく、ニラ包子、いなかゆべし、鮎の一夜干」

が開発されたが、商品化

までは至っていない。

緒方議員

甲佐町には、緑川とい

う大きな資源がある。特

品開発は、食料品だけ

に絞らず、また、宮内地

区には、秘境といつても過言ではない場所もある。

それも、視野に入れた特

品もあつていいのではないか。

特產品は、まず第一点

目に、特定の地域がその

商品の大産地を作り上

げ、特產品として特化し

たれから知識を結集して、

本町のイメージにあつた

商品開発を進めていく必

要があると思つてている。

全国的あるいは広域的市

場を持つ物産であること。

第二点目として、その

地域の地場資源を利用し

たり、地元で工夫し、蓄

※その他、国道443号線から、大町の本村へ道路新設の要望がなされた。



特產品開発の打ち合わせ

奥名町長

この5か年で、34名の職員数が削減できた。そ

認められた場合に、地方交付税に加算される。



売却益が3700万円あつた。

また、老人ホームの民営化についても、売却益が6800万円あり、それに運営費の赤字解消が図られている。

伊豆野学校教育課長

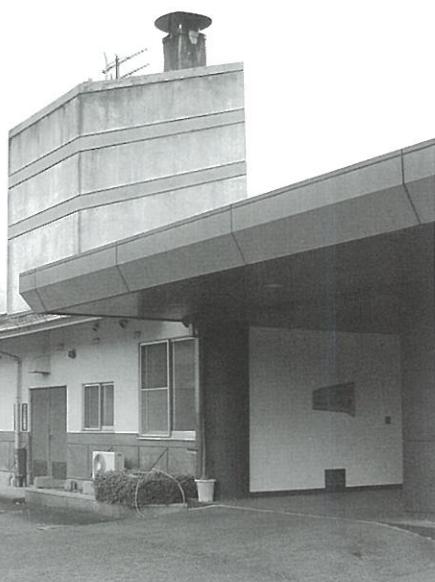
給食センターの民間委託については、人件費と炊飯業務委託の減少により、約440万円の財政効果が出ている。

※行革インセンティブと

は、各自治体が、国

の職員削減計画を上回る実績を残したものと

り、平成19年度から平成21年度までの3か年において、2億4600万円程度の財政効果があつた。



民営化された緑川荘

山内議員

行政改革の成果と使途について

ラムに基づいて行われた、緑川保育所の民営化、老人ホーム「緑川荘」の民営化、給食センターの民間委託、それと、職員の適正化計画に基づく職員数の削減についての財政的効果とその使途についてお尋ねしたい。

村上福祉課長

平成16年度から公立保育所の運営費が一般財源化された。今回の民営化により国、県の補助制度が存続されるので大きな財政効果が期待されるし、緑川保育所の譲渡による

奥名町長

財政効果分の使途については、主に定住促進事業や子育て支援に向けている。

「暮らしと自治熊本」という冊子では、県内でも高い評価を受けているし、今後、中学校建設も控えているので、更に行革を進めていく。

農家の戸別補償制度について

山内議員

昨年秋に政権交代が行われ、農業者所得保障制度が導入されようとしているが、この制度の概要と評価を聞きたい。

奥名町長

所得保障制度については、22年度からモデル対策として水田利活用持久

力向上事業と米戸別所得補償モデル事業があり、共に自給率向上を目指した事業である。

事業の周知を行っている集落座談会を行っている

本田産業振興課長

これまで実施した資源

甲佐ブランド確立に向けた特産品開発について

山内議員

特産品開発事業が3か年事業として実施されているが、今後の方針を伺いたい。

23年度では、更に市場戦略の構築ということで、デザインや販路確保などを行い、ブランド化を完成させたい。



新制度が導入される稲作風景

本郷昭宣議員



今後の町営住宅の管理運営は

本郷議員
町営住宅について

町営住宅については、
公営住宅法に基づいて甲
佐町でも建設されている
が、現在、団地数および
戸数並びに建築年度はどう
なっているか。

本田建設課長

団地数は10団地あり、

建築後40年を経過して
いる住宅が半数を占めて
いるが、第5次甲佐町総
合計画後期計画に基づい
て良好な維持管理に努め
ていく。

今後の住宅の管理運営

高一貫教育、小中連携授
業、二学期制等いろいろ
改革、変革がなされてい
るが、県下で二学期制を
導入されている数は、ま
た、学校側からのメリッ
ト、デメリットはどんな
ことがあるか。

溜湧教育長

二学期制は平成14年度

から土曜日が休日となり、
子どもの授業時間の確保
をどうするかということ
で始まった。

奥名町長

甲佐町教育委員会で検
討されたことはあるか。

活性化については、町
で住宅増、人口増、企業
誘致、子育て支援、環境
整備等に取り組まれてい
て大変結構なことである。

もちろん、観光面にも
努力されて立派な観光パ
ンフレットができる
が、特定の方にしか目に
触れていないと思われる。

そのため、月ごと、ま
たは季節ごとに、年間を
通じての「四季折々に、
甲佐町にぜひ来てみなつ
せ」のパンフレットを作
成して、そのパンフレッ
トを人の多く集まる旅行
会社、バス会社、県関係

の施設等に置かせてもら
い、多くの方々に甲佐町
を知っていただき、そし
て来てもらいたいと思う
が。

四季折々に甲佐町に来てみなっせ
白旗グラウンドの桜

については、第6次総合
計画策定時に入居者の動
向、住宅の老朽の度合い、
払い下げが可能かどうか
など、検討の必要がある
と認識している。

期末の慌ただしさが少な
くなる。

一つの学期が無くなり
始業式、終業式が減るの
で、当日の時数のカット
がなくなることや評価が
一回減るということで授
業数を増やすことができ
る。

夏休みが学期の途中の
ため学校行事を休暇中に
組める。

定期テストの間隔が長
いので習熟度を知るために
の小テストの回数が増え
る。

デメリットは、通知表
が二回となり保護者の不
安が大きい。

溜湧教育長

本郷議員

定期テストの間隔が長
いので習熟度を知るために
の小テストの回数が増え
る。

活性化については、町
で住宅増、人口増、企業
誘致、子育て支援、環境
整備等に取り組まれてい
て大変結構なことである。

もちろん、観光面にも
努力されて立派な観光パ
ンフレットができる
が、特定の方にしか目に
触れていないと思われる。

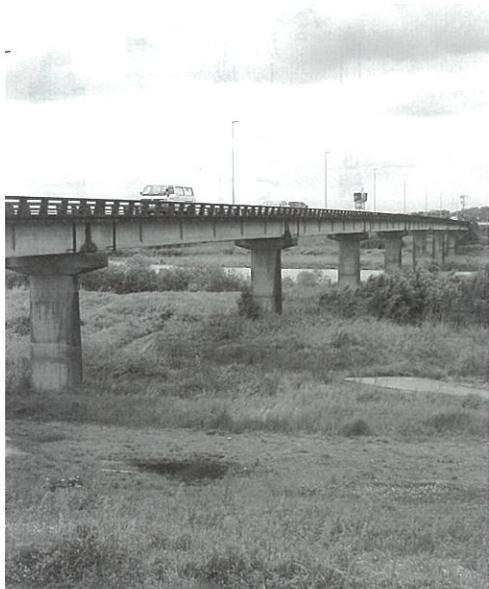
そのため、月ごと、ま
たは季節ごとに、年間を
通じての「四季折々に、
甲佐町にぜひ来てみなつ
せ」のパンフレットを作
成して、そのパンフレッ
トを人の多く集まる旅行
会社、バス会社、県関係

方々が甲佐町を知り、そ
して来ていただくように
努めたい。

「四季折々に甲佐町に来てみなっせ」
白旗グラウンドの桜

（12）

西坂 親議員



田口橋

田口橋に歩道橋を

西坂議員

企業誘致、住宅誘致など乙女台地の利活用を考えた場合、振興の核たる道路が必要になる。そのネックになっているのが田口橋である。

現在、県の財政難もあり田口橋の架け替えは希望が持てない状況にある。しかし、通行量は日増しに増えており、現時点では地域住民の交通安全の為に歩道橋を設置する必要があるのではないか。

奥名町長

乙女台地の開発、歩行者の安全確保といった面でも重要な問題だと認識している。

県においては、架け替えについて財政事情もあるが、国道443号、266号、また、県道田迎木原線の改良が完成した

歩道橋については、本線を改修した場合、設置位置がずれる可能性もあり慎重な対応が必要だ。また、田口橋の位置づけなど、町として総合的に考える必要がある。

奥名町長

今後、町の道路整備五か年計画の中で、嘉島甲佐線から山出地区までの整備する中で、田口橋の改修につながるよう、

今後も国や県には訴えていく。

西坂議員

田口橋の耐震調査はどうなっているのか。

本田建設課長

耐震調査については、県に要望しており、県においては現在検討中である。

水車発電で甲佐大橋を虹の橋に

西坂議員

クリーンエネルギー推進のため、地域資源の活用を図る国による「緑の分権補助事業」を活用して、やな場の水路や緑川を利用した水車での町の観光目玉づくり、また、水車での小水力発電による収益を図ることはできないか。

竹林の整備・開発を

西坂議員

熊本県は全国で三番目

特別の補助を仰ぐ行政努力をしてはどうか。

また、水力発電を利用して、甲佐大橋に赤・青・黄色の灯をともし、虹の橋づくりで甲佐のイメージアップを図れないか。

奥名町長

水車による水力発電については、落差と流量が重要な要件であり、それを満たせるか調査が必要だと考える。

本田建設課長

特区モデル事業についても検討したい。

J Aと協議する必要があり、今後、担当者と協議しながら、どんな組織づくりができるのか等検討したい。

高齢者に学校給食の提供はできないのか

西坂議員

高齢者が心身ともに健康で介護が要らないよう

になるため、校区ふれあいセンターを利用して、学童とふれあう場や学校給食の提供ができないか。

本田産業振興課長

里山の開発は、たけの子の増産や水の涵養にもつながり、重要だと考えている。

溜湧教育長

竹の堆肥化については、時間がとれるなら、開かれた学校づくりの一環として、ふれあい給食の実施は可能と考える。



甲佐大橋

傍聴席から一言

「子ども議会を終えての感想」

平成21年10月22日に、甲佐中学校の生徒18人が参加し、初めての「子ども議会」が開催されました。

前回に引き続き、感想文を掲載します。

甲佐中学校3年 甲斐秋帆

今回の子ども議会で、私は副議長を務めました。こんな重要な役を務めるのは、初めてだったので、とても緊張しました。

子ども議会では、甲佐町を良くするための、いろいろな提案や、日ごろ疑問に思っていることに対して、町長さんや各課長さんたちから回答していただき、甲佐町のことについて、とても理解が深まりました。

私たちは、日ごろ新しい施設をつくつてほしいとか、学校を建て替えてほしいとか、自分が快適に過ごすことばかり考えていましたが、実際は、予算の関係で要望した全ての案が通るのではないかし、高齢者への対策など、もっと大切なことを優先させなければいけないことも分かりました。だから、今は、学校をきれいに使ったり、今ある施設を最大限に活用したり、私たちにできることをしていきたいと思いました。

甲佐中学校3年 花園香穂

今日の子ども議会は、とても緊張しました。でも、こんな貴重な体験ができる、とてもよかったです。

自分たちが住んでいる甲佐町が、もつと暮らしやすくなるために、私も甲佐町の住民である一人として、いい意見が言えたと思います。

今回の子ども議会を通して、議会のみなさんの大変さ、会議の大切さなどを学ぶことができました。

今日のようないい経験ができたことに誇りを持ち、今日学んだことを、これから的生活に活かしていきたいです。

そして、自分の生まれ育った甲佐町を大事にし、甲佐町の一員として、甲佐のことについて、色々知っていきたいです。

甲佐中学校2年 皆本凌太

僕は、子ども議会に参加してみて思ったことがあります。それは、質問することに対しても、とてもわかりやすく説明してくださった所です。

僕は、ゴミ箱を設置してほしいという質問をしましたが、「川平キャンプ場に一度取り付けましたが・・・」と、すごくわかりやすく意見を返していました。

他にも、田端太陽くんの質問で、「なぜ甲佐大橋を造られたのですか?」という質問にも、「甲佐大橋を何年に造つて・・・」という所から意見を返してらしたので、とてもわかりやすく、また、興味を持つて聞く事ができました。

町長さんははじめ、副町長さんや他の方々は、手元の質問に対する応答の紙を見ずに、あれほどの文章を読んでらしたので、スゴイと思いました。他にも、質問したい事があるので、来年もぜひ子ども議会に参加したいです。

甲佐中学校2年 田端太陽

ぼくは、子ども議会で、いろいろな事を学びました。

一つ目は、しっかりとあわてず、ゆっくりと発言すること。

二つ目は、周りの人の発言を聞くこと。

三つ目は、席にしつかり座り、動かず集中しておくということです。

この三つのことを、しつかり今後の生活に活かして生きていきたいです。

あと、議会を終えて、これから学校生活では、集中してしっかり発言していきたいです。



子ども議会を終えての感想は、初めての試みですが、私たちが考えた質問や意見などに、丁寧にお答えしていただき、とても分かりやすかつたし、すごいなあって思いました。

緊迫した空気の中、発言者席に立つて発表するのは、とても緊張しましたが、とてもいい経験になつたと思います。

私は、町長さんの仕事の内容について質問しました。そしたら、あまり難しい言葉を使わずに、中学生にも分かるように説明してくださいました。

私は、来年も子ども議会に出るかはわかりませんが、毎年、子ども議会の取り組みを行うと自分の町のことなどがわかりいいと思うので、来年も実施してほしいです。



甲佐中学校2年 高崎真帆

私は、今回子ども議会に参加して、自分たちの要望や質問を実際に聞いていただけてよかったです。疑問に思っていたことも、しっかりと答えていただけました。

自分が質問したショッピングモールのことも、町に住んでいるお年寄りの方々のことや、サエラ、彩甲のことなど。

ショッピングモールは、町が大型の店を造ろうとしても、その会社が場所を決めるから、なかなか難しいと、丁寧に分かりやすく答えていただいたので、納得できましたし、スッキリしました。こういう議会で、甲佐町が変わっていくと思うと、参加できたということが、すごいことなんだなと感じました。



修を行いました。

由布市は、大分県の中央地域に位置し、面積は、およそ319.16km²、人口は、約3万6000人で、平成の大合併が進む中、平成17年に旧挾間町、旧庄内町、旧湯布院町の3町が合併した市です。

各庁舎に窓口サービスを行うための「地域振興局」を設置し、庄内庁舎に市長及び総務部門、挾間庁舎には議会及び産業建設部門、湯布院庁舎には福祉事務所、環境・観光部門、教育委員会を置く方式をとっています。

議員の定数は22人で、総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会があり、予算及び決算は、各常任委員会へ分割付託し、所管部分を審査・報告されます。

合併については、やはり一長一短があり、各旧町意識が、まだ残っているので、それぞれの要望の予算化が難しい面もあるし、一町にのみ適用する条例の制定などもあるとのことでした。

特に、旧湯布院町は、施設等の整備を行うにあたって、住民の分だけでなく、観光客の分まで考える必要があり、また違った問題もでてきていたとのことでした。

次に、近年、温暖化対策への取り組みが推進される中、本町においても、緑川の支流において実施可能な、小水力発電施設の視察を行いました。

この施設は、大分県企業局が管理する12の発電所の一つで、総事業費は約7億1900万円で建設されています。

常駐の管理人は置かず、大分川の支流「花合野川」から取水し、農業用水路で導かれた水を約90mの落差を利用して、最大680kwの発電を行っています。

なお、全体的な経営においては、なかなか厳しいということでした。

研修の内容につきましては、今後の議会運営の参考にするとともに、今後とも、議会の活性化に向け、努力していくないと考えていました。

議会運営委員会視察研修について

議会運営委員会は、去る5月25日・26日に大分県の由布市議会と小水力発電施設「花合野川発電所」の視察研修を行いました。

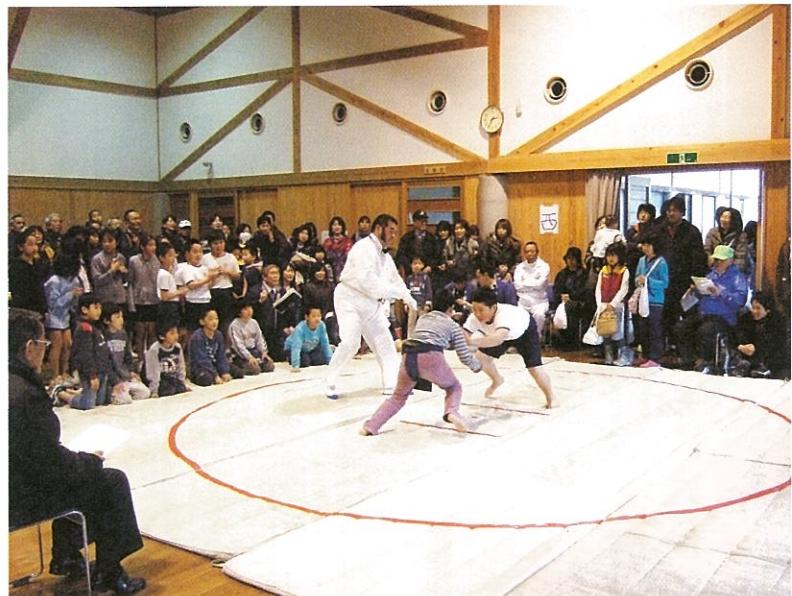
平成22年第1回臨時議会

平成22年2月16日に、平成22年第1回臨時議会を開催した。

○財産の取得について

小・中学校教職員用パソコン等の取得について、賛成多数で可決した。
種類等 ノート型パソコン、プリンタなど
取得の価格 2517万9000円
契約の相手方 甲佐町大字仁田子544番3

代表取締役 山本 徳雄



初市の相撲大会



「緑川の日」流域一斉清掃

○平成21年度甲佐町一般会計補正予算（第6号）

国からの地域活性化・きめ細かな臨時交付金8455万円を主な財源として、1億2064万1000円を増額し、57億953万7000円とする補正予算を全会一致で可決した。

その内容として、

① 庁舎屋根塗装工事	137万3000円
② 子ども手当てシステム改修委託料	367万5000円
③ トレーニングセンター改修工事	1800万円
④ 地域用水環境整備施設改修工事	1800万円
⑤ やな場改修工事	2600万円
⑥ 道路維持工事	1000万円
⑦ 河川護岸復旧工事	900万円
⑧ 各小学校校舎外壁及び甲佐中学校武道館外壁補修工事	4480万円

編集後記

議会だより「清流」1

33号の編集もほぼ終えて、過去の議会だよりを見て、だったら、十数年前の町民からの投稿文「傍聴席から一言」の中に、町の活性化策の一案として、緑川を中心とした自然の中で、子どもの教育に力を入れ、子育て支援を充実させることにより、若い世代の人を呼び込んだり転出が少なくなるようにして人口増を目指してはどうか、といった文章

そういえば、5月7日 付けの新聞にわが町の定住促進策や子育て支援策をPRした広告文が出ていました。

甲佐町もゆっくりとではありますが、確実に明るい方向へ動いていると思われます。町民の皆様が、どのように感じておられるのか、ご意見を聞いてみたい気がします。

議会広報編集特別委員会 委員長 本田 新副委員長 本郷 昭宣 委員 緒方 哲哉 委員 宮川 安明 委員 井芹 しま子



23年以上の議員在職で熊本県町村議会議長会の表彰を受けられた西坂議員

おめでとうございます

熊本県町村議会議長会表彰